［大崎市立沼部小学校］ 校長室だより　　令和８年１１月１０日(火)

＜学校教育目標＞　*いのちを大切にし、自ら学び、心身ともにたくましい子供の育成*
＜目指す学校像＞　◎楽しく活力に満ちた学校　◎自他を大切にする学校　◎保護者に信頼され、地域に応援される特色のある学校

＜目指す児童像＞

ぬ	ま	つ	こ
ぬくもりのあるこども	まなびつづけるこども	つよくたくましいこども	こころをこめてあいさつするこども

校章に込められた『真・善・美・福・寿』の願い

（１１月１０日(火)　お話朝会にて）



これは、沼部小学校の校章です。桜の花びらの中に5つの文字が書いてあるのを、みんなは知っていますか。5つの文字とは、「真」、「善」、「美」、「福」、「寿」です。

「真」とは、正しいこと。「善」とは、よいことです。うそをついたり、ごまかしたりしないで、良いと思うことを進んでやることです。でも、簡単なことではありません。

学芸会で3年生が『あまからしるこ』という劇を発表してくれました。和尚さんに、おしるこを食べてはいけませんと言われていたのに、お坊さんたちは、こっそりやってきて、隠れて食べてしまいましたね。「やってだめ！」といわれると、ついやってみたくなることがだれにでもありますよね。3年生のみんなとっても上手に演じていました。

2年生の『西遊記』に登場した、孫悟空も、はじめはとても乱暴者でした。500年も岩に閉じこめられていたくらいです。でも、助けてくれた三蔵法師や、仲間と一緒に旅をしながら、どんどん良い人になっていきました。2年生のみんなも、『西遊記』の劇を通して、うそをついたり、ごまかしたりしないで、正しいと思うことをやることの大切さをみんなに教えてくれました。

3つ目の文字は「美」です。「美」と言ったら、4年生のぬまっこ楽団です。とてもきれいな合唱と合奏でした。友達と一緒に歌うと、みんなの声が重なって、さらに大きく、きれいな音楽になります。合奏も同じです。楽器の音色やリズムは一つ一つ違いますが、みんなで心を合わせ、ほんとうに美しい演奏でした。

4つ目の文字は「福」です。1年生18人が、18ぴきのねこになって、みんなで力を合わせて、大きな魚をとって食べちゃいました。クラスのみんなで協力し、失敗しても楽しみながら、楽しく生活する幸せを、元気いっぱい表現していました。

5年生の劇は、本当の幸せとは何か、みんなに教えてくれました。はじめ、がやがやの国の人たちは「世界でいちばんやかましい音」を出すことに夢中になります。しかし、音がなくなったことで、初めて小川のせせらぎや小鳥の声に気づきます。静かだからこそ聞こえる大切な音があるのですね。がやがや、にぎやかが幸せなのではなく、静かというのも、じつはとても大切な幸せであることを、がやがやの国の王様が教えてくれました。

最後、5つ目の文字は「寿」です。「寿」とは命、健康です。小学校最後の学芸会、6年生が発表してくれた劇は、戦争のお話でした。爆弾でたくさんの人の命がなくなりました。戦争は、多くの人の命や家族のつながりを奪う悲惨なものだということを教えてくれました。

命、そして健康は何よりも大切です。



学芸会、どの学年も、本当にすばらしい発表でした。よく学び、よく遊び、よく食べ、そして仲間を思いやりながら、さらによりよい沼部小学校にしていきましょう。